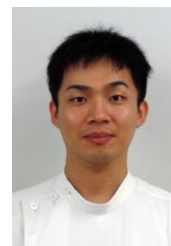


## 和歌山病院での実習を通じて



上田 洲裕

この度、2日間にわたり臨床実習の一環として和歌山病院を訪問させていただきました。短い時間ではありましたが、非常に濃密なカリキュラムをご用意いただき、充実した時間を過ごさせていただきました。

今回の実習で最も印象深く記憶に残ったことは胸部X線正常画像の読影法です。どのような検査にも解剖学や生理学は勿論、物理学や化学など基礎的な科学に基づく原理原則があるはずですが、試験に向けた暗記重点の学習を続けるうちにそれらをすっかり見失っていることを痛感せざるを得ませんでした。なぜフィルム上に線が形成されるのかという基本に始まり、どの線に注目し読影を行えばいいのかといったポイントまでご教示いただきました。これまでの実習では系統的な読影を行えていなかったため、診断医の所見を読んでハッとするということが多く、胸部X線写真にはどこか苦手意識がありました。今では段々と楽しく見るようになってきました。

また、訪問前は和歌山病院と言えば古くは国立療養所であったというイメージが強く、古い映画などで見る療養所の風景が頭に浮かんでおりましたが、まさに百聞は一見に如かずで、綺麗な病棟が建っており驚きました。県内唯一の結核病棟にも入れていただき、空調設備など新しい病室の構造、DOTS等実際の診療を拝見する事が出来、大変勉強になりました。

そして、1日目のスケジュール終了後、院長先生と研修医の先生方と夕食をご一緒させていただく機会に預かりましたが、「宮子姫伝説」や道成寺の「安珍・清姫伝説」といった和歌山病院の所在地である美浜町や隣接する御坊・日高地域にまつわるお話を沢山伺いました。地域で医療をする以上、その土地の風土をよく知ることが大変重要であると実感したところです。私は有田の出身ですので、和歌山のことを多少は知っているつもりでいましたが、やはりそれぞれの町や古い村の単位で色々なことが違っており、まだまだ勉強しなければならないと考えています。

上記以外にも呼吸管理など多くのことをカリキュラムに盛り込んでいただき、勉強させていただきました。そして、今回のタームが臨床実習前半の最後であったこともあり、実習班の良い思い出作りの機会ともなりました。

末筆ながら、お世話になりました南方院長先生、駿田副院長先生はじめ和歌山病院の皆様には厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。